

現況写真台帳

④1



④2



現況写真台帳

④③



④④



現況写真台帳

④5



④6



現況写真台帳

④7



④8



現況写真台帳

④9



⑤0



現況写真台帳

51



52



現況写真台帳

53



54



現況写真台帳

55



56



現況写真台帳

57



58



現況写真台帳

59



現況写真台帳

60



61



現況写真台帳

62



63

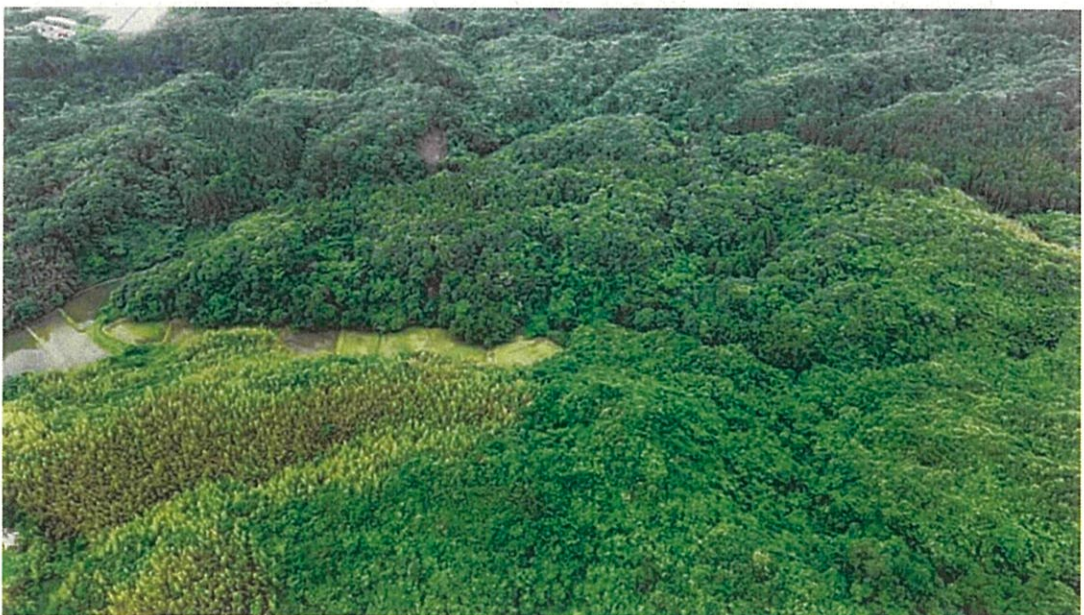


現況写真台帳

上空1



上空2



現況写真台帳

上空3



上空4



現況写真台帳

上空5



上空6



現況写真台帳

上空7



上空8



現況写真台帳

上空9



林地開発許可審査調書

申請者住所氏名	東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 日本国土開発株式会社 代表取締役 朝倉 健夫									
開発場所	黒川郡大郷町不来内字一本木山1番 外1字30筆 宮城郡松島町初原字宮ノ入29番1									
関係林小班	大郷町A005へ1～7、ト1～7、チイ～6、リ1～17、A001～10、松島町A020ロ10～14、ハ2、7-2、9									
開発目的	太陽光発電施設の建設			開発事業名			(仮称)大郷町太陽光発電事業			
森林率等	48.57% 残置森林率(44.29%)			法令等で定められている森林率等			25% (15%)			
面積	事業区域面積		30.3851 ha				森林経営計画 有 (無)			
	開発をしようとする森林面積		28.1987 ha				公益的機能別施業森林名			
	開発行為に係る森林面積		15.7109 ha				該当なし			
要領第5の区域該当状況	該当なし									
用途面積	用地の現況		その他					計	比率(%)	
	転用後の用途	地域森林計画対象民有林	地域森林計画対象外民有林	原野	宅地	田	国有地(水路・赤道)			
	造成森林	1.0135	0	0.1207	0	0.0551	0.0191	1.2084	3.98	
	造成緑地	1.3047	0.0108	0.0000	0	0	0.0053	1.3208	4.35	
	パネルエリア	12.0195	0.2676	0.6694	0.1183	0.0461	0.0353	13.1562	43.30	
	道路等	1.3689	0.0229	0.0852	0.0140	0.0121	0.0202	1.5233	5.01	
	自営線	0.0043	0.0588	0.0000	0	0.0000	0	0.0631	0.21	
	小計	15.7109	0.3601	0.8753	0.1323	0.1133	0.0799	17.2718	56.84	
	残置森林(16年生以上)	12.4878	0	0	0	0	0	12.4878	41.10	
	残置森林(15年生以上)	0	0	0	0	0	0	0.0000	0.00	
	残置(その他)	0	0.0955	0.4916	0	0.0283	0.0101	0.6255	2.06	
	小計	12.4878	0.0955	0.4916	0.0000	0.0283	0.0101	0.0000	13.1133	43.16
	計	28.1987	0.4556	1.3669	0.1323	0.1416	0.0900	0.0000	30.3851	100.00
	現況	樹種及び混合歩合	①スギ(37)、②ヒノキ(1)、③アカマツ(1)、タケ(1)、④その他広葉樹(50)							
林齢・生育状況		①51～70・普通、②31～40・普通、③1～70・普通								
傾斜		平均 6度37分		地質 新第三期中新世			土壌 黄色系褐色森林土壌(幡谷1統)			
開発行為に対する関係者の意見	受益者	該当なし								
	市町村	松島町(令和5年9月22日付け松産(産振)第134号) 大郷町(令和6年1月11日付け大郷農579号)								
他法令の関係	他法令の認可の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・特定都市河川浸水被害対策法における雨水浸透阻害行為の許可申請(具河川課 令和6年1月30日回答) ・太陽光発電施設の設置等に関する条例(県再生可能エネルギー室 令和6年2月1日回答) ・大郷町開発指導要綱に基づく審議(大郷町まちづくり政策課 令和5年12月14日回答) ・国土利用計画法に基づく届出(大郷町 令和4年8月24日届出済) ・土壌汚染対策法に基づく「一定規模以上の土地の形質変更の届」(県塩竈保健所 令和6年2月6日届出済) ・水路、赤道払下げ(大郷町財政課 令和5年10月23日登記更新) 								
	事業についての認可状況	・防災調整池に関する協議書(具河川課 令和6年1月23日回答)								
一般的事項の審査	計画の具体性	設計図書一有		資金計画一有		信用状況一有		施工業者一自社施工		
	森林を使用できる権利	所有権		地上権		使用承諾		賃貸規約 その他()		
	排除を要する権利及び手続きの状況	地上権		地上権(協議中)		抵当権		根抵当権 その他()		
その他	最小限度面積か	必要最小限度の面積と認められる								
	全体計画との関連	当該開発計画が全体計画である								
	開発協議書の締結・同意書	問題なし								
	周辺森林施業に及ぼす影響	問題なし								
残置又は造成森林の管理	開発中は申請者が管理し、開発後は所有者が管理を行う。									

1 災害防止工の審査	土工事	適	不適	切土:678,560m ³ 最大切土高:25.9m 切土法面勾配 1:1.5 盛土:649,000m ³ 最大盛土高:23.2m 盛土法面勾配 1:1.8 残土処理の方法:1.9cm程度の調整で場内調整処理が可能であるため、場外への搬出は発生しない。
	法面工事	適	不適	法面崩落を防ぐため、切土・盛土ともに、直高5m毎に幅1.5mの小段を設置する。法面勾配は、切土部1:1.5、盛土部1:1.8とする。 法面浸食防止のため、種子吹付工を施工する。また、造成森林においても、法面浸食防止のため同様の対策を実施する。
	防災工事	適	不適	盛土法面には、土砂流出を防ぐため、板柵工を設置するほか、盛土巻き出し厚には30cm毎転圧、必要に応じて段切りを行う。また、沢部などの盛土箇所には150mm及び300mmの暗渠排水管を設置し内部排水をおこなうほか、盛土密度試験を行い適切に管理する。 土砂の流出対策として、雨水排水をオンサイト形式の4つの調整池へ誘導し土砂を沈砂させたのちに、放流量を調節して上澄水を、放流する。
	流末処理	適	不適	流末は、法定外水路を經由し味明川、吉田川、鳴瀬川(すべて一級河川)へ放流する。
2 水の確保上の審査	水の依存状況	有	無	水源依存農地面積:1.77ha 水利権者・水資源依存農地地権者から同意取得済み
	必要水量を確保するための措置	適	不適	利害関係者から同意取得済み
	水質悪化の防止のための措置	適	不適	仮沈砂池及び調整池により土砂を沈殿させるため、濁水発生の恐れはない。
3 環境保全上の審査	森林率と配置	適	不適	事業区域周辺部に残置森林を配置している。事業区域周囲におおむね林帯を確保出来ている。森林率は48.57%、残置森林率は44.29%となっている。
	騒音・粉じん・植生保全に対する措置	適	不適	重機等(建設機械)については、低振動・低騒音型を使用し騒音や震動の発生低減を図る。
	景観維持上の配慮	適	不適	周囲に残置森林及び造成森林を配置しており、法面においても緑化を図る計画である。また、自主的に自然環境調査を行い、貴重な動植物の保全に努める。
4 工事の工程	適	不適	土工事と平行して、防災施設を設置する計画となっている。	
総合判定	許可 条件付許可 不許可		以上審査結果、森林法第10条の2第2項の各号に掲げるいずれにも該当しないものと認められるため、許可が適当と認められる。	
審査者職氏名	環境生活部 自然保護課 みどり保全班 野田 隆紀 印			
処理期間	令和5年8月18日～令和6年 月 日			
現地調査年月日	令和5年12月21日(水)			
調査者職氏名	自然保護課みどり保全班 技術主査 野田 隆紀 主事 藤城 莉子			
聴取及び現地立ち会い人	事務所: 仙台地方振興事務所林業振興部森林管理班 技術主任主査 佐藤 国弘 申請者: 日本国土開発株式会社			
審査調査調書類	林地開発許可申請書等チェックリスト			